

令和2年12月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和元年度の決算の概要と令和2年度上半期の財政状況をお知らせします。

もくじ

1	令和元年度決算の概要	1
2	令和2年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	3
	・特別会計	5
3	令和2年度予算の使い方と市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	公営事業の状況	9

1 令和元年度決算の概要

決算の特徴

- ◆令和元年度は、「市民一人ひとりがしあわせを実感できる都市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現するため、「しあわせ倍増プラン2017」、「さいたま市成長加速化戦略」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進しました。
- ◆東日本連携の取組を加速化させ、東日本の対流拠点にふさわしい都市機能の充実を図るとともに、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現に向け、健康増進につながるスポーツ環境の充実を目指しました。
- ◆子育てを応援し、だれもが健やかに安心して暮らせる環境や、きめ細かで質の高い教育環境の充実を図るための取組を進めました。
- ◆一般会計の決算規模は、過去最大となりました。

決算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

教育

福祉

土木

など

歳入 **5,515億円**歳出 **5,456億円**

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

歳入 **3,082億円**歳出 **3,068億円**

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

収入 **1,180億円**支出 **1,417億円**

全会計合計

※四捨五入の関係で各項目の合計と一致しません。

歳入（収入） **9,777億円**歳出（支出） **9,940億円**

主な事業

01

環境
アメリ

環境未来都市の実現【決算 1億3,825万円】

「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現に向け、「平時の低炭素化」「災害時のエネルギーセキュリティの確保」「状況に応じた最適な移動手段の提供」に取り組みました。

02

健康
福祉

私立幼稚園等の預かり保育促進【決算 3億5,293万円】

私立幼稚園等の預かり保育事業の費用を助成するとともに、「子育て支援型幼稚園」の利用者負担の軽減などを実施しました。

03

教育・文化
スポーツ

“スポーツのまちさいたま”の実現【決算 1億429万円】

気軽にスポーツができる多目的広場やバスケットボールコートを新たに整備しました。また、民間力を最大限に活用した「スポーツシューレ事業」として、女子サッカー等活性化事業などを実施しました。

04

都市基盤
交通

暮らしの道路・スマイルロードの整備【決算 38億4,107万円】

市民からの整備要望を受け、4mに満たない生活道路の拡幅整備や、道路の排水能力の向上、舗装の再整備など、道路環境の改善につながる整備を進めました。

05

産業
経済

にぎわい交流館いわつきの整備【決算 4億2,856万円】

地域のにぎわいを創出する拠点として「にぎわい交流館いわつき」を整備し、岩槻の観光や特産品の情報、歴史文化を発信しました。

06

安全
生活基盤

既存ブロック塀の改善【決算 1,548万円】

地震で倒壊のおそれがあるブロック塀等を改善するために、除却工事等に係る費用を助成しました。

07

交流
コミュニティ

自治会への支援・加入促進【決算 2億8,583万円】

自治会活動を支援するとともに、「自治会区域図」を整備し、新たにホームページに掲載しました。

08

高品質経営
プログラム

ICTを活用した働き方改革の推進【決算 1,699万円】

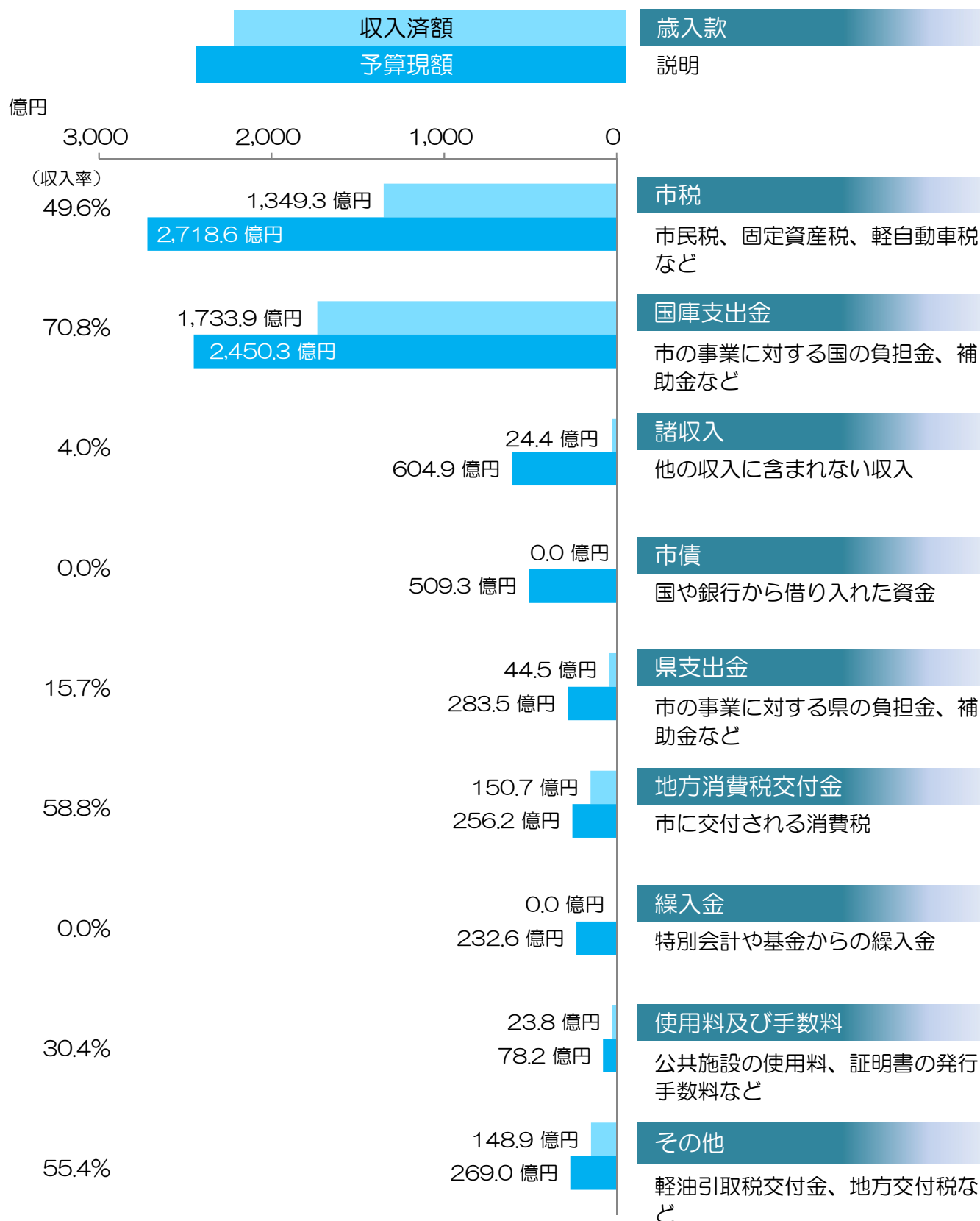
事務処理を自動化するソフトウェアロボットの試行導入や保育施設の入所選考にAIを導入するなど、業務の効率化を図りました。

2 令和2年度歳入歳出予算の執行状況

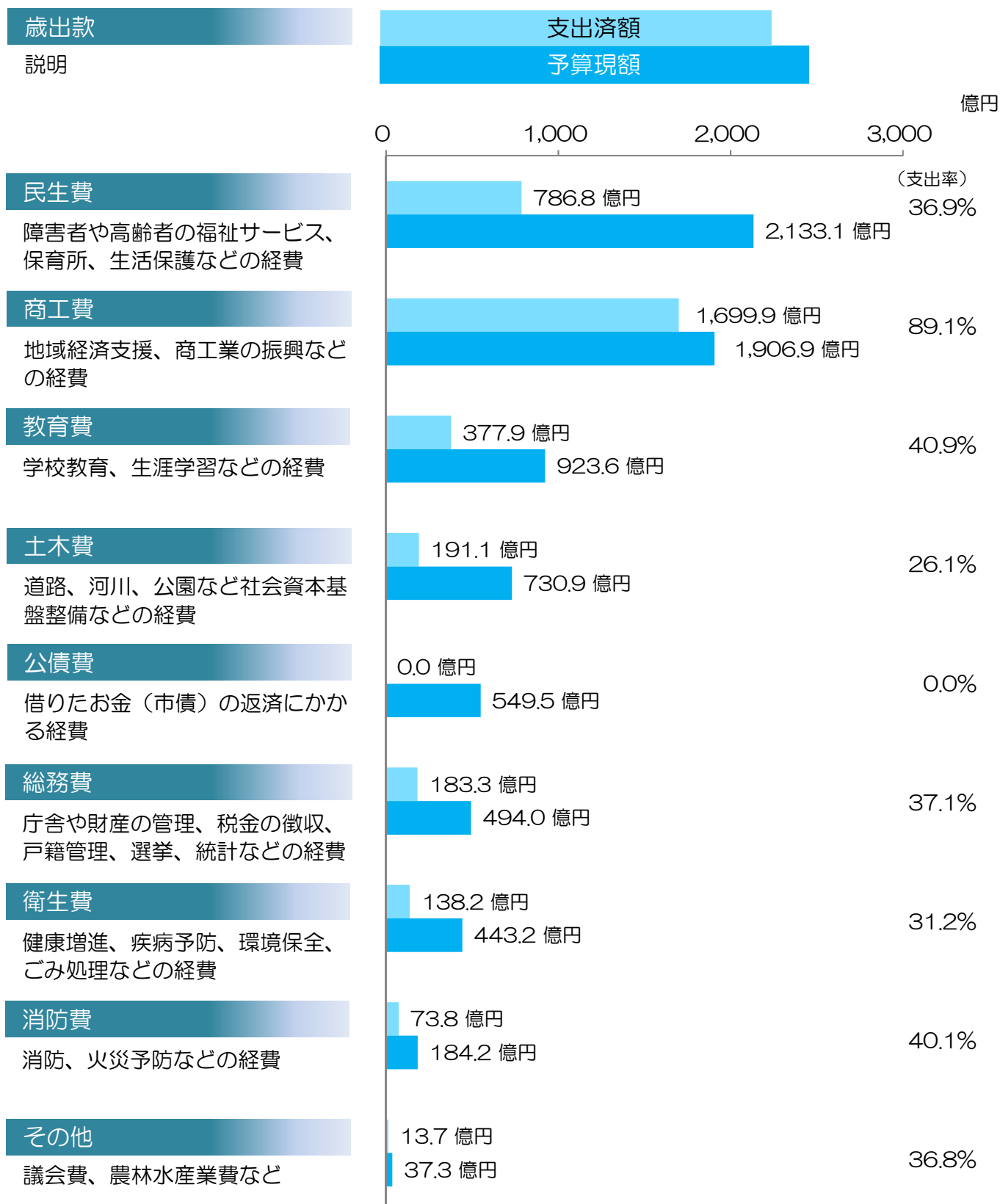
一般会計

※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた令和2年9月末の予算額を表します。
補正予算額には、9月末時点で成立していないものは含まれていません。

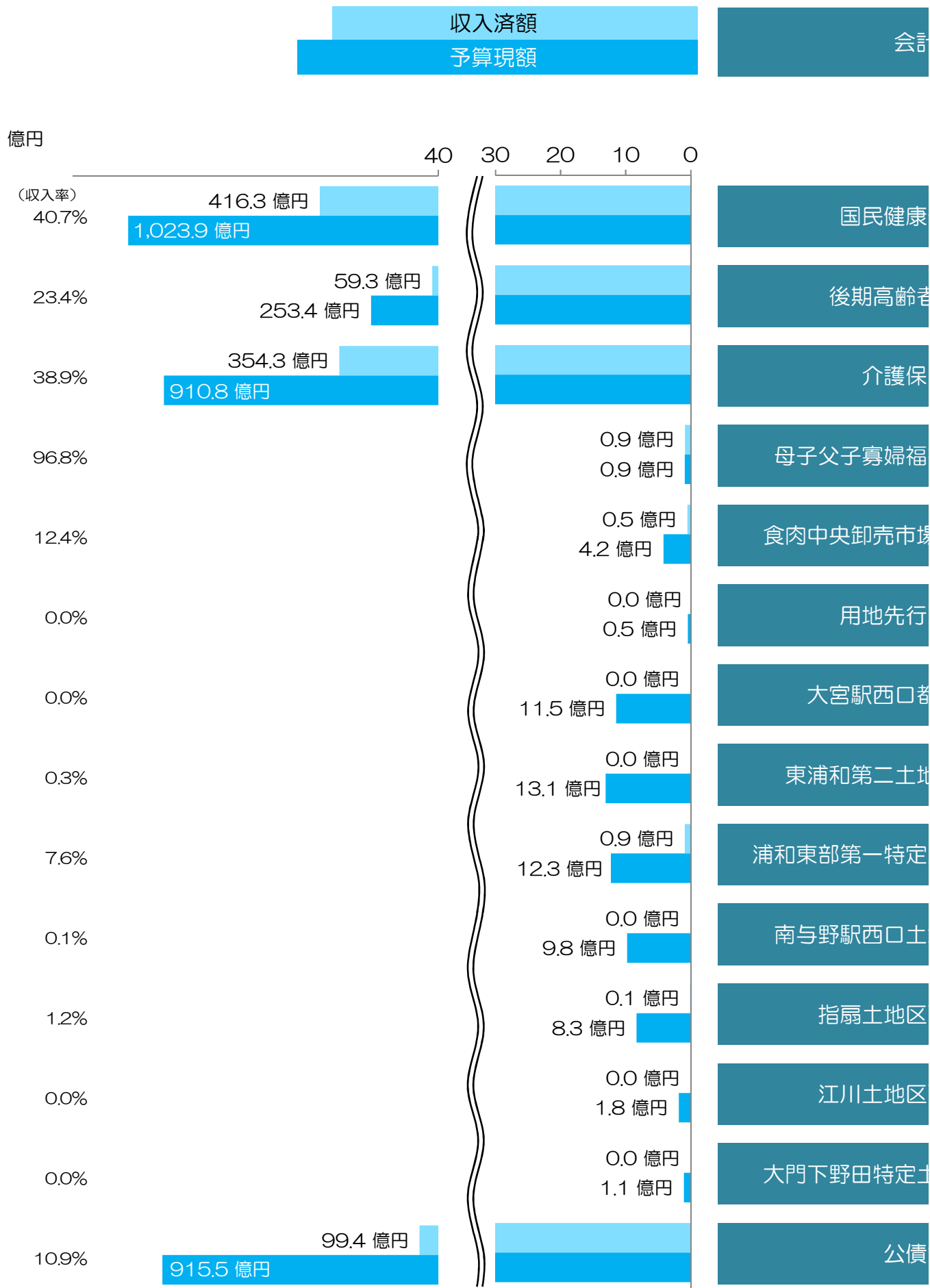
$$\text{歳入} \frac{\text{収入済額 } 3,475\text{億}3,697\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,402\text{億}6,568\text{万円}} = \text{収入率 } 46.9\%$$

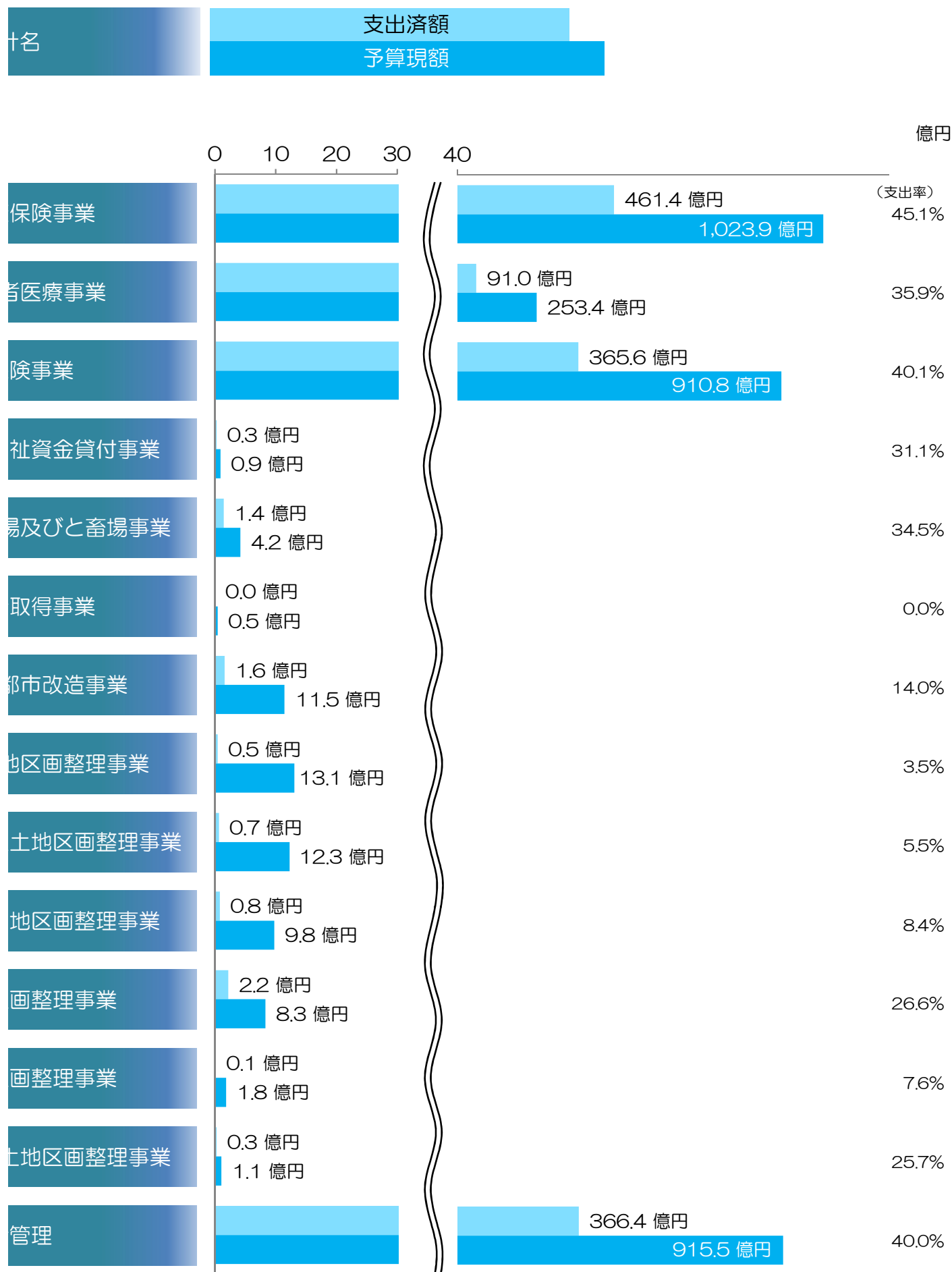


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 3,464\text{億}6,997\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,402\text{億}6,568\text{万円}} = \text{支出率 } 46.8\%$



特別会計





3 令和2年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



161,215円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

559,489 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※令和2年10月1日現在の人口（1,323,110人）を基に算出（以下同様）

2

商工費



144,122円

3

教育費



69,808円

4

土木費



55,241円

5

公債費



41,529円

6

総務費



37,335円

7

衛生費



33,495円

8

消防費



13,923円

その他

議会費
農林水産業費
労働費
予備費
災害復旧費

2,821円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

205,469 円

市民税



114,622円

固定資産税



66,456円

都市計画税

14,260円

市たばこ税

5,481円

事業所税

3,528円

軽自動車税

1,119円

その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,168万㎡	271万㎡	675億円

その他の財産

区分	9月末現在高
立木	7,274㎡
物権	27万㎡
動産	なし
無体財産権	14件
有価証券	97億円
出資による権利	18億円
不動産の信託の受益権	なし
物品	4,404点
債権	33億円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金の現在高（内訳）

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金等を積立て、必要に応じて取崩しを実施。 227億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 190億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 258億円

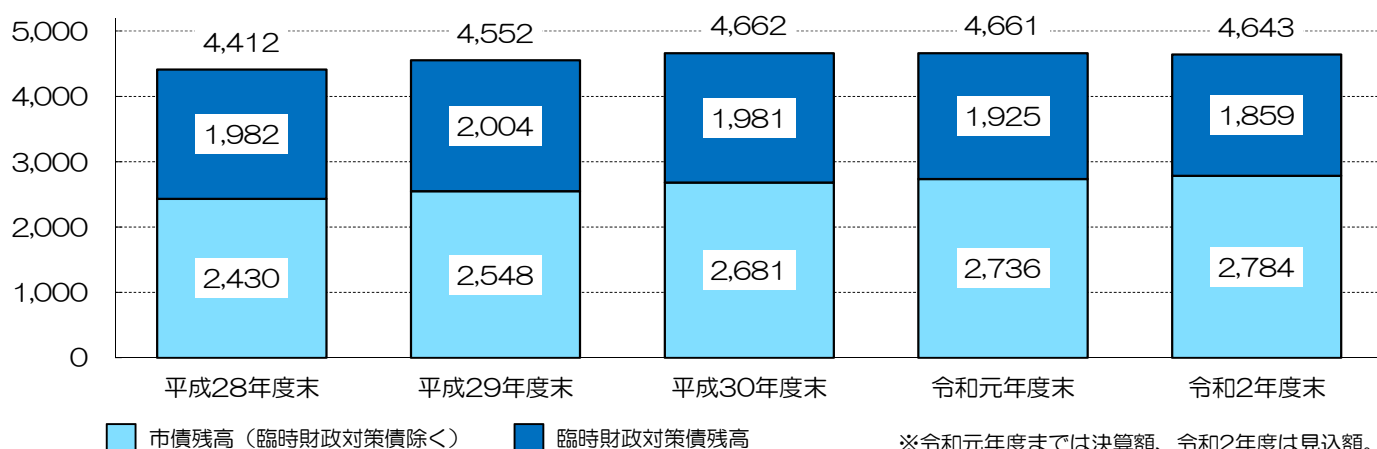
地方債の現在高

（単位：億円）

会計	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末 （見込み）
一般会計	4,412	4,552	4,662	4,661	4,643
特別会計	139	130	120	103	89
企業会計					
水道事業	536	514	480	445	429
病院事業	29	47	83	341	344
下水道事業	1,800	1,808	1,812	1,806	1,813
合計	6,917	7,051	7,157	7,357	7,318

（参考）地方債の現在高の推移（一般会計）

（単位：億円）



※令和元年度までは決算額、令和2年度は見込額。

一時借入金の現在高

令和元年度下半期に引き続き、令和2年度上半期における借入れはなく、令和2年9月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

令和元年度決算の概要

決算額 43,372,265千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	9,025,650
水道水の安定供給を図るため施設整備を推進しました。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域の基幹病院として、地域医療における中核的な役割を果たしていますが、救急・周産期・災害等の不採算・特殊部門に係る医療の多くを公立病院が担っている中、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。

このような状況の下、新たに医療機能の拡充・強化を行ったさいたま市立病院では、市民が地域の中で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、安定した医療提供体制を維持するため、中期経営計画に基づき、医療機能の充実と健全な経営基盤の確立を図っていきます。

令和元年度決算の概要

決算額 49,099,520千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院施設整備事業	21,383,915
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センターを含めた施設整備を実施しました。	
市立病院医療機器整備事業	6,516,779
新病院開院に伴う医療提供体制の整備及び病院機能拡充のため、新たに定位放射線治療装置等の医療機器を整備しました。	

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善を実現し、水循環を形成するとともに、大雨等による自然災害に対して、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要事業である下水道汚水事業、下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業を推進していきます。

また、平成29年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（平成29年度から平成32年度まで）」に基づき、現行使用料体系を維持し、下水道サービスを持続的に提供していくために経営基盤の強化に努めていきます。

令和元年度決算の概要

決算額 49,206,120千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道汚水事業	2,929,738
さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進しました。	
下水道浸水対策事業	3,485,458
浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進しました。	
下水道施設老朽化対策事業	3,976,896
老朽化した下水道施設について、計画的な改築を進めるとともに、重要な下水道施設の耐震化を実施しました。	

■ 計理の概況 (令和2年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	223,369,094
(1) 固定資産	204,709,734
(2) 流動資産	18,659,360
負債	79,324,393
(1) 固定負債	42,762,097
(2) 流動負債	7,051,267
(3) 繰延収益	29,511,029
資本	137,680,012
(1) 資本金	124,452,619
(2) 剰余金	13,227,393
収益	14,230,114
うち営業収益	14,172,563
費用	7,522,388
うち営業費用	7,078,054
整理勘定(中間勘定)	343,037

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	15,641,465	45.9%	8,109,391	27.6%
資本的収支	72,715	1.9%	4,920,883	20.9%

■ 事業の概況 (令和2年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	612,340	618,658	101.0%
給水量 (m ³)	65,995,320	68,007,950	103.0%
一日平均給水量 (m ³)	360,630	371,628	103.0%

■ 計理の概況 (令和2年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	48,455,606
(1) 固定資産	44,213,944
(2) 流動資産	4,241,662
負債	42,019,847
(1) 固定負債	37,977,093
(2) 流動負債	3,282,639
(3) 繰延収益	760,115
資本	6,817,072
(1) 資本金	8,817,812
(2) 剰余金	▲ 2,000,740
収益	7,736,394
うち医業収益	7,530,333
費用	8,091,707
うち医業費用	7,995,724
整理勘定(中間勘定)	26,000

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	7,757,868	35.9%	8,248,219	33.8%
資本的収支	54,103	3.1%	592,073	19.5%

■ 事業の概況 (令和2年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	567	637	112.3%	
入院患者数	一般病床	82,344	78,315	95.1%
	結核・精神病床	602	2,325	386.2%
一日平均入院患者数	一般病床	450.0	428.0	95.1%
	結核・精神病床	3.3	12.7	384.8%
外来患者数	114,496	103,897	90.7%	
一日平均外来患者数	930.9	851.6	91.5%	

■ 計理の概況 (令和2年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	419,266,293
(1) 固定資産	410,760,964
(2) 流動資産	8,505,329
負債	280,511,529
(1) 固定負債	169,271,590
(2) 流動負債	10,141,897
(3) 繰延収益	101,098,042
資本	134,921,349
(1) 資本金	131,056,472
(2) 剰余金	3,864,877
収益	11,905,672
うち営業収益	11,901,872
費用	3,645,723
うち営業費用	2,353,285
整理勘定(中間勘定)	4,426,536

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	12,728,061	48.3%	3,858,032	15.6%
資本的収支	532,070	2.8%	11,374,738	35.4%

■ 事業の概況 (令和2年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
汚水処理戸数	523,073	533,591	102.0%
汚水処理水量 (m ³)	72,078,372	79,030,680	109.6%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	393,871	431,862	109.6%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は72円（概算）です。

令和2年12月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154